



令和7年11月6日

福岡県内経済情勢報告

令和7年11月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

電話 092-411-9038

福岡県内経済情勢報告

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回 比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	

（注）7 年 10 月判断は、前回 7 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復のテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回 比較
個人消費	回復のテンポが緩やかになっている	回復のテンポが緩やかになっている	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
設備投資	7 年度は増加見込み	7 年度は増加見込み	
企業収益	7 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復のテンポが緩やかになっている」

百貨店販売は、国内客の節約志向の高まりがみられるほか、インバウンド需要について、ラグジュアリーの販売が低迷し前年を下回っている。スーパー販売は、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりがみられるものの、価格転嫁の浸透もあり前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、都心部におけるインバウンド需要等により前年を上回っている。乗用車販売は、普通車、小型車、軽乗用車いずれも、前年を下回っている。ドラッグストア販売は、日用品等が好調のほか、新規出店の効果もあり前年を上回っている。家電大型専門店販売及びホームセンター販売は、前年を下回っている。旅行取扱高は、物価高の影響等により、前年を下回っている。

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械の自動車は、昨年同様の水準で、横ばい圏内で推移している。はん用・生産用機械は、底堅い自動化・省力化等に向けた投資需要により、足下持ち直しつつある。電子部品・デバイスは、在庫調整の進展に加え、一部で需要の回復がみられるなど、足下持ち直しつつある。鉄鋼は、建築資材の需要等が伸び悩んでおり、横ばい圏内で推移している。

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率は、おおむね横ばいとなっているものの、足下では低下している。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

■ 設備投資 「7 年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7 年 7-9 月期

7 年度は、製造業は前年比 27.9%の増加見込み、非製造業は同 0.5%の減少見込みとなっており、全産業では同 7.3%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7 年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7 年 7-9 月期

7 年度は、製造業は前年比 9.9%の減益見込み、非製造業は同 3.8%の減益見込みとなっており、全産業では同 5.4%の減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数でみると、給与住宅が減少しているものの、持家、貸家及び分譲住宅が増加していることから前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出（円ベース）は、前年を上回っている。なお、輸入（円ベース）は、前年を下回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査（7 年 7-9 月期）の景況判断 BSI でみると、7 年 7-9 月期は「下降」超となっている。先行きについては、7 年 10-12 月期は「上昇」超の見通しとなっている。